

はなみずき

病院理念

私たちは安全で良質な医療、
心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。



近藤 聡英教授
顧問就任記念対談

～地域に愛される病院を目指して～

認知症マフ制作チームが発足しました

当院ではこのたび、認知症マフの制作チームを発足しました。メンバーは、認知症看護認定看護師を中心に、ケアワーカー、作業療法士、MSW(医療ソーシャルワーカー)など多職種で構成されています。

認知症マフは、手に取って触れることで安心感や落ち着きを得られる、温かみのあるケアツールです。制作にあたっては、本人の好きな色や思い出の品をうかがい、それらをマフに取り入れることで、ご本人、ご家族、スタッフの心がつながるきっかけとなることを目指しています。その人らしい生活を支え、心地よさを感じられるようなケアを、マフを通じて広げていきたいと思ひます。

(文／認知症看護認定看護師 小西)



近藤 聡英教授 顧問就任記念対談

順天堂大学医学部脳神経外科学講座 主任教授・近藤聡英先生が、このたび当法人の顧問に就任されました。就任を機に所沢ロイヤル病院にお越しいただき、金子院長、山下副院長との対談が行われました。

近藤先生は研修医時代、急性硬膜外血腫の子どもを救った経験をきっかけに脳外科医の道を志し、以後数多くの手術を手掛けながら臨床・教育・研究の分野で実績を重ねてこられました。

先生が大切にされているのは、地域と患者さんに寄り添った温かい医療です。所沢ロイヤル病院についても、恵まれた施設やスタッフを活かし、リハビリの「手作り感」や「温もり」をもっと発信すべきだと語られました。デジタル化が進む中でも、ホワイトボードを用いた担当表などアナログな工夫が、人と人との自然な交流を生み出し、患者さんの意欲を高める力になると評価されています。また、リハビリの成果を分かりやすく「見える化」することで、患者さん自身の前向きな取り組みを引き出すことの重要性も強調されました。

さらに先生は、今後の医療が「選ばれる存在」であり続けるためには、診療報酬や助成制度を適切に活用するとともに、職員が誇りを持って働ける環境づくりが不可欠であると指摘されます。学会活動では、外科医の技術や発想を知的財産として体系化し、社会的価値へとつなげる取り組みも推進。医師としての責務に加え、経済的持続性を見据えた先見性をもつ姿勢は、私たちにとって大きな示唆となります。

今回の就任を機に、近藤先生の知見と経験を活かし、地域により愛される病院づくりを進めてまいります。

(文／総務課 前田)



2階病棟 にて

お買い物ツアーを開催しました!

2階回復期リハビリテーション病棟の患者様を対象に病院のバスに乗り、イオンスタイル入間にお買い物に行きました。

新型コロナウイルスの影響等もあり、開催は実に8年ぶりとなったお買い物ツアー。

患者様1人1人が決められた予算の中でお買い物やお食事を楽しみました。



お買い物ツアーでは、楽しむだけでなく、応用的な歩行、エスカレーターへの乗り降り、お金の計算など、普段リハビリで懸命に取り組まれていることを発揮する絶好の機会であり、病院内で経験出来ない、実践的なリハビリを行う事が出来ます。



お買物を終えたら、フードコートで一息。欲しかったものを買う、好きなものを食べるなど、思い思いに過ごされている姿は、院内では拝見する姿とはまた違い、たくさんの笑顔を見ることができ、スタッフも嬉しい時間となりました。

(文／理学療法士 間宮)



夏まつり

夏まつりの装飾で
雰囲気たっぷり!

顔出し
パネルも♪



定番の
ヨーヨー釣りも
ご好評でした♪

今年も当院では、夏祭りが開催されました。写真撮影やヨーヨー釣りなどを楽しんでおり、釣れた時には周りのスタッフたちから拍手や歓声を浴びて生き生きとした表情をしていました。参加された方に今年もアイスクリームが提供されました。「暑いからちょうどいいね。」「久しぶりに食べたよ。」と大変喜ばれました。会場全体が温かな一体感に包まれていました。

(文／看護師 大久保)

みるみる! いろいろやるん! 読書の秋、 「ユマニチュード入門」ケアの原点も見つめなおす

「ユマニチュード」は、フランスのイヴ・ジネストさんとロゼット・マレスコッティさんの二人によって作り出された認知症ケアの現場でうまれた方法です。

「見る」「話す」「触れる」「立つ」と言う4つの柱を通じて、相手の尊厳と人間らしさ、「あなたは大切な人です」という想いを伝えていきます。

たとえば、声をかける前にしっかり目を合わせる。作業を進める時は短い言葉で優しく説明する。体に触れる時は驚かせないように肩や手から。立ちあがるときは無理に起こさず、姿勢を整える。どれもシンプルですぐにできることです。

日々の関わりの中で、まなざしや声のトーン、手のぬくもりというシンプルな接し方が相手の笑顔を引き出して安心感を生み出してくれるのだと、初心にかえる思いが湧き出る優しい一冊です。

認知症への理解を深める入門書として手に取ってみてはいかがでしょうか。

(文／介護福祉士 小松)



出版 医学書院

著 本田 美和子 / イヴ・ジネスト / ロゼット・マレスコッティ

ご面会 について お知らせ

- ご面会日時 : 月曜日～日曜日 / 14:00～19:00
- ご面会時間 : 不織布マスクを着用し、30分程度を目安にお願いします。
- ご面会人数 : 4名まで (12歳未満のお子様はお控えください)
ご友人の面会についてはご家族同伴でお願いします。
- ご面会受付 : 必ず病棟のサービスステーションにて面会カードをご記入下さい。

編 集 後 記

順天堂大学 近藤先生の対談では当院の強みや課題をご指摘いただきました。

近藤先生にお話しいただいた内容の中で当院は地域に好かれる病院になり得る要素をたくさん持っています。リハビリで力を入れていることなどをもっと広報してアピールしていけば、地域の方によりロイヤル病院というものを感じていただけるのではないかとおっしゃられていました。

先生にお話しいただいた、当院の長所の中には私たちにとって日常的なもので長所としてとらえられていないものもありました。「彼を知り己を知れば百戦殆からず」— 私たちも他を知り、もっと皆様に愛される存在となれるよう、はなみずき編集部一同当院の魅力を皆様にお伝えしていきたいと思います。

(文／総務課 前田)



発行

医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院 [広報委員会] はなみずき編集部

〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11 TEL:04-2949-3385 FAX:04-2949-7872